

上宮寺通信

第八十四号

お盆は地獄の釜の蓋が開く？

「お盆には地獄の釜の蓋が開く」という言葉を聞いたことはないでしょうか。「あの世」と「この世」を隔てる地獄の釜の蓋が開くからご先祖様がお盆に帰ってくるのか。（ただし浄土真宗ではそのようなことは言いません）

地獄と聞いてイメージされる、獄卒（鬼）に責められて火で焼かれたり、岩で押しつぶされたりするなどの恐ろしい情景は、平安時代の僧・源信僧都の書かれた『往生要集』が元となっています。

『往生要集』では地獄を（1）等活地獄（2）黒縄地獄（3）

衆合地獄（4）叫喚地獄（5）大叫喚地獄（6）焦熱地獄（7）大焦熱地獄（8）阿鼻地獄の8つにわけ、さらに一つ一つの地獄に16の副地獄があり、あわせて128の地獄があると説かれました。

それぞれ生前に犯した罪の種類、重さによって振り分けられる地獄は違いますが、中でも最も重い罪人が落ちるとされるのが（8）阿鼻地獄です。「阿鼻」は「無間」ともいわれ、絶え間なく苦しみを受けるという意味の地獄です。

この阿鼻地獄に落ちると、他の地獄がまるで楽しみに満ちた天上世界にも思えるほどだというのです。そして、阿鼻地獄に落ちた罪人はこんな言葉を残して嘆くそうです。「我、今、帰す

るところなく、孤独にして同伴なし（私はもはや帰るところもない。ひとりぼっちで一緒に歩んでくれる友もない）」。まさに地獄とは孤独の世界なのです。

人間の一番大きな罪は「自分さえよければいい」という自分中心の考え（我執）です。その思いが孤独の世界を生み出し、様々な罪を犯していくのです。

源信僧都はこの地獄のありさまを『往生要集』に著しながら自らの姿も顧みられたことでしょう。「地獄に落ちるべき罪人とは一体誰なのか。この私（源信）ではないのか」。

源信僧都は地獄に落ちるべき存在である私が、唯一救われる道は阿弥陀仏を信じて念仏を称えるしかない」と『往生要集』の

後半で念仏を勧められました。

地獄は恐ろしい世界である、だからこそ浄らかな仏の世界を求めなければいけない。日本人にそんな宗教心を根づかせた源信僧都は日本浄土教の祖ともいわれ、親鸞聖人も七高僧の一人として讃えられています。



◆行事案内

お盆（盂蘭盆会）法要

8月13日（水）・14日（木）

午前9時～午後3時

場所…上宮寺本堂

※ご都合のつく時間にお参りください。同じ時間に集まっていたいただいた方々と総経にておつとめいたします。

※法名を讀み上げますので、位牌等で確認してメモしてきてください。

※時間帯によってはたいへん混み合うことがあります。ご了承ください。



ホームページ



公式 LINE

秋季彼岸会・永代経法要

9月8日（月）午前10時～

法要 引き続き 絵解き法話

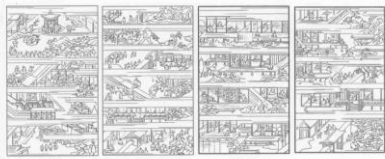
法話 名和正真 師

（清須市久證寺住職）

絵解き法話

「親鸞聖人のご生涯（前編）」

絵図（掛け軸）などを使って、仏教の教えをわかりやすく伝える絵解きが寺の法座などでは古くからおこなわれてきました。今回は親鸞聖人御絵伝の絵解きを通して、聖人の生涯を学びます。



※午前からの法要です。持ち帰り用の軽食をご用意いたします。

◆話題あれこれ

○中部日本雅楽連盟の定期演奏会「舞楽と管絃の会」を10月1日に行います。ご興味のある方はぜひ足を運びください。

第71回「舞楽と管絃の会」

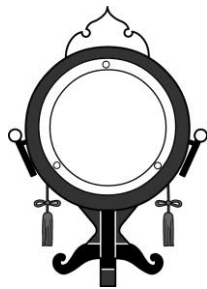
日時 10月1日（水）

午後6時半～8時半頃

（開場は6時）

会場 名古屋市芸術創造センター

※入場無料



○連日の猛暑で体力も奪われていることと思います。どうぞお身体を大事にお過ごしください。

【雑感】

大混戦の末、平幕・琴勝峰の優勝で大相撲名古屋場所は幕を閉じました。新しい会場となったIGアリーナは連日の満員御礼。チケットが非常に取りにくい状況でしたが、幸いなことに観戦する機会をいただきました。最近の大相撲は女性ファンも多く、アイドルのコンサート会場のように力士のグッズ売り場は長蛇の列ができていました。もちろん私も推しの力士のタオルを掲げて応援しました（笑）。でも残念ながら負け。先場所、今場所と成績が奮わなかっただけに来場所こそ復活してほしいです。（住職記）

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547